

# 編輯室內外

第七十六帝國議會も陽春の三月二十六日を以て愈々閉會せられた。大政翼賛運動、軍機保護法、國家總動員法、國防保安法、治安維持法等に關しては頗る質策應答する所があつたが、一般に期待されたる翼賛議會として協賛の誠を竭くしたるの勞を謝せざるを得ない。

○我國は支那事變處理の爲に軍事的行動を餘儀なくせられて居ると同時に一面積極的の獨伊樞軸國と提携し東亞は勿論歐洲の新秩序建設に邁進しつゝある。従つて國の内外事務は現實的狀態をして益々複雑長期たらしむるの趨勢を呈して來たのである。國民は此覺悟を以て善處せねばならぬ。而かも東亞共榮圈確立の基礎的要件として日滿支の緊密化を強化する爲めに三ヶ國の交通設備に一大革進的檢討を加へ其の完備を期すべきであらう。

○朝令暮改は心に戒心を要す、されど大政翼賛會の改組に至りては四國の事情に徴し已むを得ざるの措置として認識しなければならぬ。或は云ふ大政翼賛運動は理論よりは實踐に在るが故に一般國民の熱意期待、希望よりはとばしり出づる聲に聽かねばならぬ、と然り大衆の力は強い、其の合唱する所に聽けば則ち聖なることを得ん。

○無駄を省き生活を簡易化し、食糧其他の

編輯室內外

物資を節約して其餘力を生産擴充の方面に寄與することは、戰時國民生活として當然の事である。斯る生活の改革は机上の空論でなく、書齋に於ての理念でなく、全く日常に在りての實踐であり、現實であり、眞劍味である。ヒシ／＼と迫り來る衣食住物資の缺乏乃至高價に對し如何に對處すべきか空論や理念や小田原評定では解決し得れない究極的問題である。指導的立場にある者の熟慮果斷を要望せざるを得ない。

○戰死の兄を偲びながら「國の爲に私も兄の後を追ふて燃り疲れて機械の前で死するの覺悟で、私達のリズムや仕事もそして生命もつと高い所に在る。國家といふ尊い存在の所に在る。精を出せ精を出して人生の春も故郷の春も何にもかも忘れて頭から糸屑をかぶつて眞白になりながら糸を撚りませう」と一紡績工女は悲痛な決意を述べた。有聲の男性の耳にどう響くか。

○小學校の名稱が改稱せられて國民學校となり、其國民教育の方針、養育方法も轉機せられた。吾人は其小學校には少なからず愛惜の情を禁じ得ないものがある。時代の變移が斯くまでの改變を必要とするに至つたかを思ふ。

○ヒトトラ總統は英本土上陸と大戰の勝利を夢みて居ると、駐米ハリファックス英大使は公言する。英米の作戰協力のみが此の夢を破り得るものであるか、夢ならば醒めよかしと祈る英國國民は米國の物資援助を

「あれば最後の勝利者はイギリスであると、いふ確信は幻にあらざるか否か。

○佛印と泰との兩國間の紛争は我日本の調停により終に解決した。政治上、經濟上は勿論國際上の一大成功である。調停仲介者には調停が破れたる時の用意と實力とを具備する資格あるを要することが明白にせられた。

○陸軍將校の本分徹底、人材拔擢を目標として陸軍分限令及進級令が改正せられた。高度國防に備ふる所に出づ。(三、二六洗)



定價 一部 五十錢  
一ヶ年分 金六圓

東京市麴町區霞關一丁目内務省內  
社団法人 道路改良會  
電話銀座(57)〇四二七

發行者 東京市世田谷區代田壹丁目七八〇  
編輯者 小島 效

印刷所 東京市小石川區諏訪町五六  
印刷者 常磐印刷所  
奈良直一